

夏を感じるにはもう少し時間が必要な札幌です。以前に札幌ドーム見学ツアーを紹介させて頂きましたが、今回念願叶い、北海道日本ハムファイターズの試合観戦に行くことが出来ましたので報告させていただきます。

セバ交流試合で、土曜日の巨人戦に行きました。ドームに行くのは車or地下鉄東豊線最終駅の福住から徒歩5~6分ほどかかります。試合の当日、満員電車状態の地下鉄でドームに到着しました。周りは皆、目的は同じようで私は私服でしたが、半数の人はどちらかのチームのユニフォーム姿でした。

入場ゲートでペットボトル飲料を回収され、中に入り、座席番号の通路までぐるりと回廊通路を歩くのですがここには色々な屋台があります。そして皆思い思いの屋台に並び、ドリンクやつまみ等を買ひながら座席へ向かいます。私も生ビール(札幌ではビールは基本サッポロビールです)とザンギを購入し、席へ向かいました。札幌ドームは他の球場と違い、ホームチームのベンチが逆方向の三塁側になっています。ですが私は新庄監督目当てで来ていたので、一塁側内野席からファイターズベンチを見ることのできる座席を選択しました。

試合の途中、トイレに立ち通路へ出ますと屋台の前には共有テーブルがいくつもあり、飲んで・食べて楽しくモニター観戦している人達が盛り上がっていました。

残念ながら試合はファイターズが負けましたが、楽しい1日を過ごせました。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

唐突ですが、皆さまムーミンをご存知でしょうか。「ねえムーミン♪こっちむいて♪」のフレーズ、一度は聞き覚えがありませんか?私はムーミン大ブーム世代ですので、このフレーズを聞いただけで口ずさんでしまいます。

そんなムーミンの作者である北欧の童話作家、『トーベ・ヤンソン』との手紙のやり取りから生まれた公園が埼玉県にあるということで、随分前から行ってみたいと思っていました。そして今回ようやく目標を達成することが出来ましたので、少しばかりご紹介したいと思います。

場所は埼玉県飯能市、東京都心より約75km、およそ1時間とそこそこ距離があります。

正式名称『トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園』。自然に囲まれた都心含む周辺エリアのオアシスとなっています。おすすめの公園です。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から  
- From the base in the world -



新型コロナは油断出来ませんね。円安、資源高による物価高騰で何もかも値上がり。仕方が無いとは言うものの、ガソリン価格がこれだけ高いとなかなかドライブで遠出もしにくいですね。

最近、色々調べていると近場に義経、弁慶のゆかりのある神社を発見しました。尼崎の大物にある『大物主神社』です。ここは尼崎の大物にありますが駅や町名などは『ドイツ』と読み、神社は『オオモノヌシジンジャ』と読みます。

神社にお参りし、社殿の左側の石碑を見ると、『義経弁慶隠家跡』と書いてありました。源頼朝に追討される主従がこの地に立ち寄りたとの事です。色々な説もあるそうですがロマンがありますよね。

あと汁醤油発祥地の碑もあり、大物では平安時代の末期から醤油を醸造していたそう。今回、近場の歴史に触れてみて色々知る事ができました。



大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は三重県の『日永うちわ』をご紹介します。

日永うちわは現在の三重県四日市市日永、旧東海道の『日永追分』あたりで作られていたことから、この地域の名前が付いたようです。

日永うちわの起源はよくわかりませんが、旧東海道を往来する人たちの伊勢参りのお土産として発達してきたそうです。

日永うちわの製作は、日永地域周辺の水沢や川島地域の女竹(めだけ)を主に使用して作られます。竹自体は3年物が作業に適しているそうです。(竹ならどれも同じかと思いましたが、こだわりがあるのですね。)丸竹の節を上下20cmぐらいにカットして、一昼夜水につけて翌日64本に割り、うちわの形を作って、美人画、富士山、伊勢神宮などの柄の美濃紙を貼っていきます。

日永うちわは、三重県の伝統工芸品にも指定されていて、骨と柄が一体となった丈夫な作りで、柔らかな風が出るのが特徴とされています。日永うちわの製造業者は明治時代には10軒ほどあったそうですが、現在は1社だけになってしまったようです。(伝統的なものを作る業者が減っていくのも寂しいものですね。)

柔らかな風ので、日永うちわで涼をとってみてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

皆様、唐突ですが、『ゴマサバ』をご存知でしょうか。新鮮な真サバを刺身にし、醤油ベースのタレに漬け、すり胡麻、ネギ、ワサビなどの薬味を添えて食べる福岡県民の郷土料理です。サバは痛みやすいこと、アニサキスによる食中毒が怖いことで生食は一般的には控えられており、生食が盛んな地域は限られていますが、博多では以前から好んで食べられている料理の一つです。そのゴマサバで有名なお店を今回はご紹介したいと思います。

場所は博多駅博多口側から徒歩10分程度の場所。お店の名前は『海鮮居酒屋はじめの一步』さんです。当日はサバの入荷が少なかったようで、ゴマサバを注文すると足りない分はゴマカンパチでの提供とのことでしたが、ゴマサバ、ゴマカンパチ共にどちらも美味しいです。特に漬けダレが絶品で、ごはんを注文すると漬けダレをすくうため用のスプーンを店員さんが持ってきてくれます。

またこのお店の名物料理で、『里芋の唐揚げ』なんていうあまり名物になりそうにない名物料理があるのですが、これがまた絶品!一度煮込まれて味付けされた里芋を唐揚げにしているだけなのですが、なんと美味しい!他、色々注文をしましたが、どれも満足いくお料理ばかりでした。

鮮度抜群なサバは臭みがなく本当に美味しいです。こちらへお越しの際には、是非一度お召し上がり頂ければと思います。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

ジャカルタは4、5年前から市の発展のために道路、地下鉄、歩道などの工事を行っています。歩道橋にも様々な飾りをつけ、歩行者が楽しく渡れるようにしています。ジャカルタの中心地であるスティルマン周辺は、ジャカルタ近代化の代表として集中的に道路、歩道、橋などの工事が行われています。

さらにジャカルタには、ナンバープレートの末番号が偶数か奇数かによって、偶数日には偶数のナンバーのみ、奇数日には奇数のナンバーの車のみ通行ができるという車のナンバープレートを利用した交通規制が存在します。

さらに最近注目されているのは週末スティルマン通りに若者たちがよく集まっていることです。コーヒーを飲んだり、ケーキを食べたりいろいろな話、遊びなどをしています。中でも目立っているのは若者の服装です。エキセントリックなスタイルの服を着ており、日本であれば原宿のような雰囲気になりつつあります。このような活動は『チタヤムファッションウィーク』と名付けられています。チタヤムはジャカルタ郊外にある市で、若者たちはチタヤムから来ているそうです。最近のことですのでまだ行ったことがないですが、時間が空いていたら一度行ってみたいです。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

～0.3%の狭き門～

毎年6月7日～9日は、中国の大学受験生にとって最も重要な勝負の時です。普通高等学校招生全国統一考試、通称『高考』が開催されます。日本の大学入学共通テストに相当するものと言えますが、中国では有名大学への受験戦争は日本より熾烈かもしれません。

今年は2021年より115万人多い1193万人が高考を受けました。日本の人口の10倍とは言え、ケタ違いの人数です。上海では3月から2か月間コロナ対策で都市封鎖されていたため、特別に1か月延期した7月7日～9日に実施されることになりました。

日本では試験問題は統一ですが、高考は省によって異なるそうです。さらに地域、戸籍によって同じ志望校でも合格ラインが異なります。また、少数民族の受験生には優遇加点措置があったりします。驚きですね。科目は国語、数学、外国語が必須、さらに選択科目があり、合計750点満点。例えば、中国トップの北京大学も北京の受験生と福建省の受験生とは同じ点数でも合格ラインが異なり、通常は地元のほうが有利なのだそうです。北京大学、清華大学、復旦大学、上海交通大学はビッグ4と呼ばれる難関大学で、東大クラス以上ともいわれます。受験生のわずか0.3%の狭き門です。習近平国家主席も清華大学出身です。

試験当日は両親も応援に駆け付け、会場の外は大混雑。我が子の受験を見守ります。人生を左右する一発勝負に親御さんも必死です。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

ニュースで日本は危険な暑さが続いていると報道されていますが、皆様熱中症には十分気をつけてください。

ここ南カリフォルニアも大分暑くなってきました。この辺りでは他の国や地域と違い、暑くなると海岸へ行くことが多いです。こちらの海の近くでは湿気も少なく、海水の温度が低いためにとても涼しい風が吹き、暑さのぎには最適です。

そんな事で先週末、少し北にある『ベニスビーチ』へ行ってきました。そして少し足を延ばして最近人気のある『アボットキニー大通り』にも寄ってきました。アボットキニーはメルローズやロバートソンに並ぶロサンゼルスのおしゃれでファッショナブルなストリートです。ニューヨークのソーホーにも何となく雰囲気が似ていますが、レストランやブティック、雑貨店、カフェ、バー、アンティークショップなど个性的なお店が多くあります。なんと言っても

有名なのは街中にあるアートワークです。歩いていると壁や店舗にインスタグラムで見たことのあるアートが描かれていて、写真撮影ができるスポットが沢山あります。建物がどれもオシャレなので見ているだけでも楽しめる場所です。

オシャレなお店が多く迷いましたが、今回『SALT & STRAW』という大行列ができていたアイスクリーム屋さんに入りました。店のおすすめ『SeaSalt』のアイスクリームをたのみましたが、塩味が甘さを控えめにしてくれるような味わいでとても美味しかったです。その後は日本でも人気のある『ブルーボトルコーヒー』もありましたのでいただきました。

コロナも大分収まってきて、人出を多く感じましたが、のんびり週末を楽しめるオススメのスポットです。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

新型コロナウイルスのパンデミック後、最初の出張で、3年ぶりにタイの首都であるバンコクに行ってきました。

タイは海外旅行者の入国手続きを再開したので、ちょうどいいタイミングでした。フライトが早朝7時だったにも関わらず、満席でした。

バンコクの都心部に着くと、道路側が以前よりもずっときれいになっていました。ゴミがあまりないので頻りに掃除されているのかと思いましたが、そうではありませんでした。

人々の考え方が変化し、とにかくゴミを捨てないことを理解したそうです。さらに一人一人が自分の責任であると理解すると、社会をコントロールすることに効果的です。誰もが自分たちの街をより良くするという同じ目的を持っていました。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

オランダには162のナチュラ2000エリア(EU自然保護区)があります。とにかくこの地域の自然を悪化させてはいけません。そのため、政府は窒素危機と戦うために対策を講じています。ですがその対策は畜産農業の約30%を廃業にさせる可能性があり、農家は政府に抑圧されていると感じています。

先日、抗議するため、農家がスーパーマーケットの流通センターを封鎖しました。スーパーマーケットは、封鎖によってすでに日本円で約『数十億』の被害を受けています。特に生鮮食品は、店舗が供給できなくなるとすぐなくなってしまうました。

毎年約2億5000万キロの窒素が排出され、そのうち1億5000万キロはアンモニア、1億キロは窒素酸化物です。このうち航空業は『たった』約200万キロですが、農業は1億キロ以上を占めます。

農業はなくてはならないものですが、同時に対策に取り組む必要がある産業だというのは事実です。

多くの農家が廃業したらどうなるかを目に見える形で表現したいのなら、しばらくの間、供給をやめなければなりません。農家の行動は社会を混乱させるだけでなく、経済を混乱させ、その結果スーパーマーケットでは全ての商品が高騰しています。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)